

ドライバ特性のリアルタイム評価を利用した事故防止技術

概要・品質・性能

計測された車両運動とドライバ操縦からドライバモデルをオンライン同定し、飲酒の有無、疲労、眠気などを検出する。ドライバへの警告や車両制御のチューニングに応用できる。量産車に標準で実装されているセンサを利用するため、低コストで実現可能である。

技術の特徴として以下の点が挙げられる

- ・環境に依存せずドライバ特性を正確に検出可能である。
- ・量産車に実装されているセンサを流用できる。
- ・運動制御、ドライバへの警告装置など適用範囲が広い。



用途

- (1) ドライバの飲酒や疲労、眠気を感じし警告する装置
- (2) 習熟度や操縦特性に応じた車両運動制御のオンラインチューニング。

技術移転

- (1) 形態 共同研究、受託研究
- (2) 相手先 ドライビングシミュレータおよび実車走行試験販売用コードの作成。
- (3) 地域 国内に限る

実用化・情報

[試作・実験／製造・販売実績] 実用化段階
 [技術情報の提供] パンフレット
 [情報提供者] 大阪府立大学大学院工学研究科
 航空宇宙海洋系専攻 助教 得竹 浩
 [連絡先] 大阪府立大学産学官連携機構
 リエンゾンオフィス
 TEL.072-254-9872 FAX.072-254-9874

特許等

出願中